

第4章 上位計画

- (1) 国における上位計画
- (2) 県における上位計画
- (3) 市における上位計画(都市計画・総合計画)

- 国土交通省港湾局では、「2030年頃の将来を見据え、我が国経済・産業の発展及び国民生活の質の向上のために港湾が果たすべき役割や、今後特に推進すべき港湾政策の方向性」等をとりまとめている。

【港湾の中長期政策PORT2030】(平成30年、国土交通省港湾局)



- 新たな資源エネルギーの受入・供給等の拠点化
 - ・新エネルギーの供給、海洋資源の開発・利用のための活動・支援拠点の形成

鳥取港では、再生可能エネルギー供給拠点として企業から期待大



- 港湾・物流活動のグリーン化～CO2排出源・吸収源対策～
 - ・洋上風力発電、輸送機械の低炭素化やブルーカーボン活用等による「カーボンフリーポート」の実現

鳥取港では、多様な輸送手段による産業振興としてモーダルシフトに期待大



- 列島のクルーズアイランド化
 - ・国際クルーズ拠点と合わせ、フライ&クルーズ等の我が国発着クルーズを拡大、港の観光コンテンツを充実、訪日外国人旅行客の満足度向上のための施策を展開

鳥取港では、クルーズ船寄港によるにぎわい創出を推進

資料：港湾の中長期政策PORT2030（平成30年、国土交通省港湾局）から抜粋

- 鳥取県では、「県内から消滅可能性都市をゼロ」にすることを目標として掲げ、自然減・社会減それぞれの課題に立ち向かい、鳥取発の地方創生を推進している。

【鳥取県元気づくり総合戦略計画】(平成30年、鳥取県)

1. 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる 鳥取 + i s m

- 多様な観光資源を活かした戦略的観光立県
⇒ 美しい海のイメージ発信や体験メニュー造成、水産資源、漁港施設の活用など海をテーマとしたブランド化
- 外国人が憧れる鳥取
⇒ 県内へのチャーター飛行機、クルーズ船の誘致

2. 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む 鳥取 + 住む

- 鳥取ならではの「防災文化づくり」
⇒ 災害時における物流体制等の整備促進

3. 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ 鳥取 + r h y t h m

- 鳥取県産業の特徴を活かした正規雇用の場の拡大
⇒ 本社機能移転、地域の物流、人口流動等に寄与する立地等への支援の充実
⇒ 利便性の高い無料高速道路網の整備など戦略的な情報発信による誘致促進
⇒ 工業団地の造成、遊休施設の改修等による立地誘導対策の実施。
- 国内外への商圈拡大に向けた支援
⇒ 北東アジア地域間の物流活性化に向けた新規物流ルートの検討
- 暮らしやすく、元気になるまちづくり
⇒ 鳥取砂丘コナン空港と鳥取港を核にしたツインポート化

資料：鳥取県元気づくり総合戦略計画(平成30年、鳥取県)から抜粋

- 鳥取市の総合計画において、「農林水産業の振興」、「観光振興」、「公共交通の確保」が求められている。

【鳥取市総合計画】

(基本構想)

- ・中心市街地と生活拠点を有機的に結ぶ多極ネットワーク型のコンパクトなまちづくりを進める。

(基本計画)

■農林水産業の振興

- ・**航路確保のための浚渫**など漁港の維持管理を行うとともに、漁業経営の安定を図るための支援を行います。
- ・木質バイオマス燃料など木材の活用を見据え、**木材生産量の増加**を図ります。

■滞在型観光の推進

- ・鳥取県に発着している航空便や貨客船の活用はもとより、関西圏や山陽圏の**港湾、空港と連携した観光ルート**の開発を検討します。

■公共交通の確保

- ・関西圏や山陽圏の企業はもとより、環日本海諸国に対するポータルセールスを鳥取港振興会88と連携して進め、**鳥取港の利用を促進**します。

(まちづくりの目標に対する施策抜粋)

将来都市構想図



総合公共交通システムのイメージ



- 鳥取市の都市計画において、「物流」、「水産業」、「観光振興」等が求められている。
- 特に、「物流」では外貿、「観光振興」ではツインポート連携、観光・交流への活用など。

【都市計画マスタープラン】

(将来像)

- ・中心拠点と生活拠点を定め、各拠点が提供するサービスを役割分担し、各拠点やその他の集落地をバスなどの公共交通で効率的に結ぶ「多極ネットワーク型コンパクトシティ」の実現を目指します。

(鳥取港の整備方針)

■拠点のニーズに応じた土地利用の推進

- ・賀露、鳥取港は、鳥取県を代表する港湾、水産拠点として、物流、水産業、観光の振興のために必要な**土地利用を進める**とともに、新たな**アクセス道路**や**駐車場の整備**を検討します。

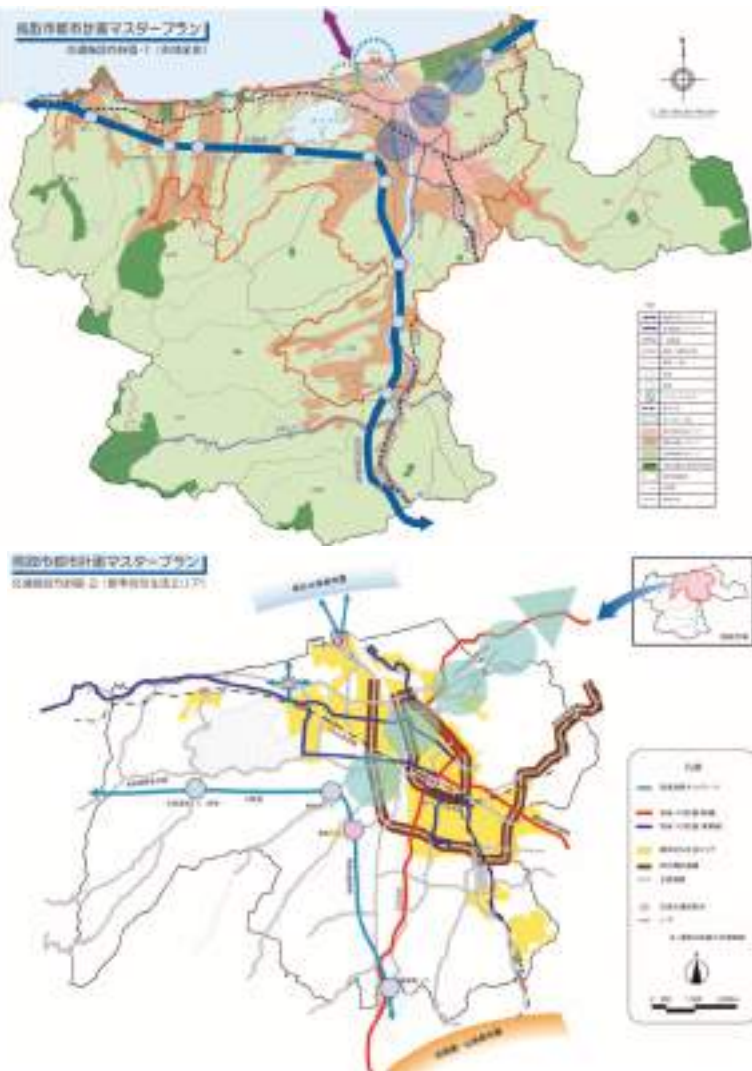
■幹線道路の整備

- ・鳥取砂丘コナン空港と鳥取港の両港がもつ機能を最大限に活かし、また**ツインポート**としての相乗効果による一体感のある賑わい拠点の形成を図るため、両港を最短距離で結ぶ(県)**鳥取空港賀露線の整備**を促進します。

■鳥取港の利用促進

- ・旅客船の入港促進に取り組むとともに、諸外国との**貿易に対応した機能強化**を促進します。また、国内外へのポートセールスに取り組み、鳥取港の利用を促進します。
- ・鳥取港ポートパークの利用促進を図るとともに、賀露周辺の観光拠点と連携し、**観光スポットエリア・市民の交流の場**としての活用を図ります。

交通施設方針



第5章 鳥取港の課題・要請

- (1) 鳥取港の課題
- (2) 鳥取港への要請
 - ① 県民からの要請(アンケート調査)
 - ② 背後企業からの要請(アンケート調査・ヒアリング調査)
 - ③ 漁船・小型船舶利用者からの要請(ヒアリング調査)
 - ④ 鳥取の将来を担う子供の意見(アンケート調査)
 - ⑤ 鳥取港賑わいづくり検討会

課題1 航路埋塞・泊地閉塞

課題2 静穏度不足

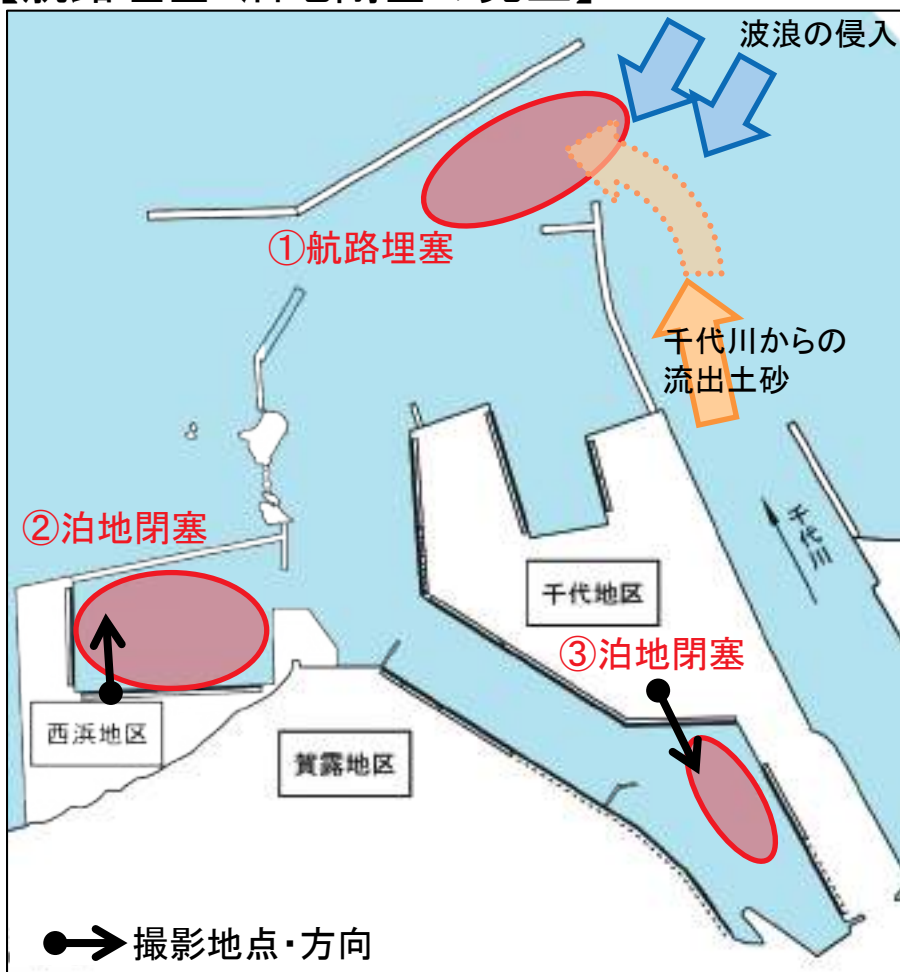
課題3 船舶の大型化と 新たな貨物への対応



課題1 航路埋塞・泊地閉塞

- 毎年、主要航路に砂が堆積し、維持浚渫工事を行っている。
- 近年、台風、豪雨の影響により、突発的に航路埋塞、泊地閉塞が起こっており、港内に貨物船が入港できず、他港で荷揚げを行った事例もある。

【航路埋塞・泊地閉塞の発生】



【発生状況】

①航路埋塞

(平成29年台風18号、21号)



②泊地閉塞

(平成30年7月豪雨)



鳥取港航路浚渫実績

年度	浚渫土量 (m ³)	浚渫費用 (千円)
H20	21,230	45,947
H21	21,007	45,962
H22	21,205	45,962
H23	-	-
H24	53,657	126,761
H25	15,842	43,926
H26	26,594	80,367
H27	30,033	82,996
H28	33,702	107,184
H29	149,215	513,455
H30	90,034	265,382
R1	66,869	287,040

平均 m³/年 44,116 平均 千円/年 137,082

※災害復旧含む

③泊地閉塞

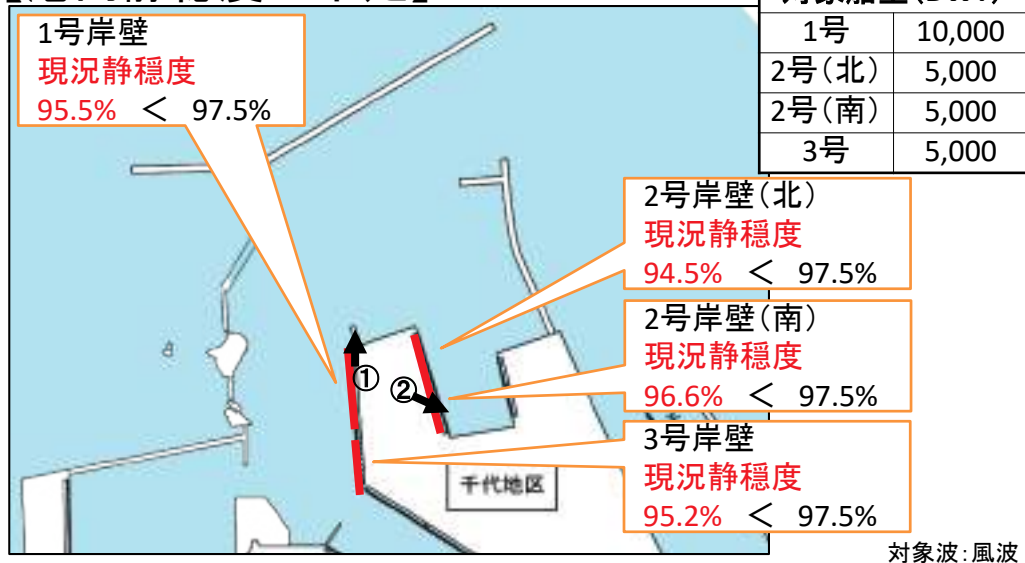
(平成29年台風18号)



課題2 静穏度不足

- 利用者から、荒天時(特に冬場)に「外海が時化しているときに、港内も時化て、岸壁で荷役ができない」との声があり、入港を敬遠されている状況が発生している。
- 西浜漁港区においては、港内に入った波浪によって、船体、岸壁が破損する事案も発生。

【港内静穏度の不足】

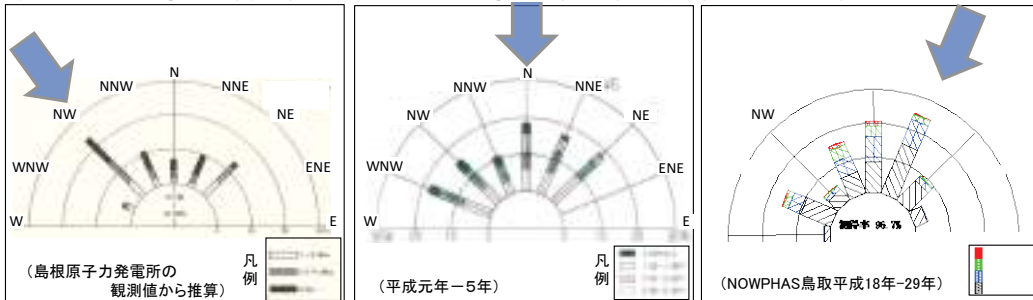


【冬期の波浪状況】



【沖波の変化(波向別波高発生頻度)】

昭和51年 港湾計画策定時 → 平成9年 港湾計画改訂時 → 直近10年の観測値



課題3 船舶の大型化と新たな貨物への対応

- **船舶の大型化**によって輸送の効率化を図りたい利用者の意向があるが、岸壁の機能がない。
- **新たな貨物への対応**について背後企業から要請があるが、港湾関連用地がほぼ分譲済であり、新たな企業が進出できない。

【岸壁、航路・泊地の水深不足】

(荷主企業)

現在、バイオマス燃料を1万トンの貨物船で輸送しているが、船を**3万トンに大型化**して輸送の効率化を図りたい。

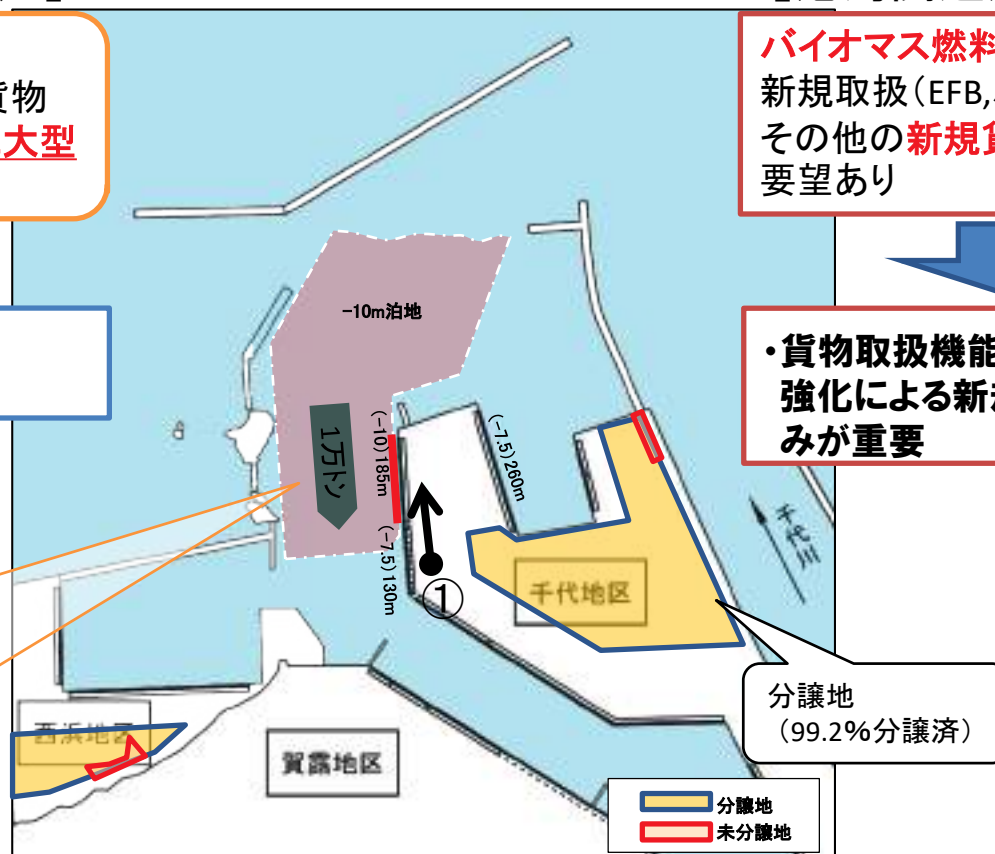
- ・港内航路・泊地の水深が不足
- ・岸壁前面の水深が不足

【港湾関連用地の不足】

バイオマス燃料の増加(PKS)、新規取扱(EFB,パームオイル)、その他の**新規貨物の取り扱い**要望あり

- ・貨物取扱機能(用地、岸壁)の強化による新規需要の取り込みが重要

①バイオマス燃料貨物船(PKS)



① 県民からの要請(アンケート調査)

【マリニアピア賀露来訪者アンケート】

- ・海+魚のイメージが5割以上を占め、**水産品が揃う**。
- ・イメージ以上に、JA直販施設「わったいな」で**農産品も揃う**。(プラスイメージ)
- ・鳥取港への来訪者は**約9割が自家用車を利用**する。(砂丘に比べ路線バス等の利用が少ない)
- ・公共交通機関を利用している旅行者は鳥取港に繋がりにくい。(マイナスイメージ)

【県政参画電子アンケート】

- ・鳥取港に対するイメージは、**漁業や食料品**に関するものが多い。
- ・余暇で訪れた目的は、買い物や食事、休憩・散策が多く、**散策・憩い空間の整備**が求められている。
- ・問題点は、交通アクセスや駐車場などの**交通手段、トイレの不足**に課題がある。
- ・賑わいの取り組みは、**憩い空間**や、**駐車場の整備、海水浴や釣り**が求められている。
- ・海上輸送拠点の取り組みは、**自然災害に強い、太平洋側港湾の機能補完、大型船への対応**が求められている。



アンケートによる県民の主な意見
交通の便が悪い
駐車場が少ない
散策できる遊歩道がない
トイレがない
海水浴や釣りが楽しめる港
太平洋側港湾の機能補完
自然災害に強い港
大型船に対応した港

県民の鳥取港への要請
交通手段の充実
散策・憩い空間の整備
マリンスポーツの推進
リダンダンシーの確保
港湾機能強化

②背後企業からの要請(アンケート調査)

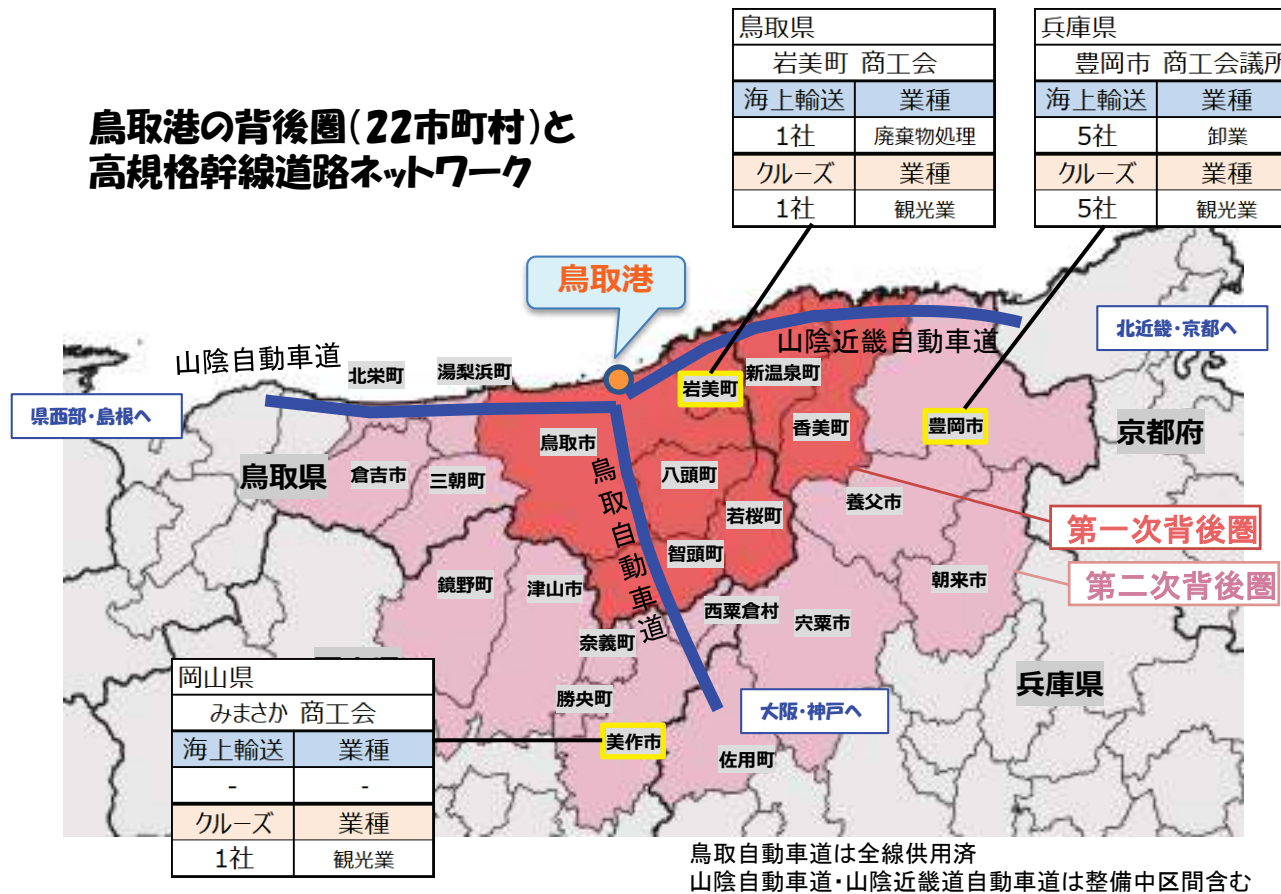
【背後圏アンケート】(第一次、第二次背後圏の計22市町村)

- ・背後圏(22所市町村)の商工会議所へ、鳥取港での海上輸送、クルーズ誘致に関心を持っている企業を調査。
- ・鳥取県岩美町、岡山県みまさか、兵庫県豊岡市の3商工会議所より回答あり。
- ・鳥取港に関心を示した企業へヒアリングを実施し、要請等を把握した。

調査対象商工会議所

県	市町村
鳥取県	鳥取市 商工会議所
	岩美町 商工会
	八頭町 商工会
	若桜町 商工会
	智頭町 商工会
	倉吉市 商工会議所
	湯梨浜町 商工会
	北栄町 商工会
	三朝町 商工会
岡山県	津山市 商工会議所
	みまさか 商工会
	西粟倉村 商工会
	鏡野町 商工会
	奈義町 商工会
	勝央町 商工会
	兵庫県
養父市 商工会議所	
朝来市 商工会議所	
宍粟市 商工会議所	
新温泉町 商工会	
香美町 商工会	
佐用町 商工会	

鳥取港の背後圏(22市町村)と高規格幹線道路ネットワーク



第一次背後圏 : 鳥取県東部(鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町)、兵庫県北但西部(香美町、新温泉町)の計7市町(1市6町) ※通称: 麒麟のまち圏域、鳥取市が2017年に設定
第二次背後圏 : 兵庫県(宍粟市、佐用町、養父市、朝来市、豊岡市)、岡山県(西粟倉村、美作市、勝央町、奈義町、津山市、鏡野町)、鳥取県(湯梨浜町、三朝町、北栄町、倉吉市)の計15市町村(7市7町1村)

② 背後企業からの要請(ヒアリング調査)

鳥取港の利用状況	業種	搬出地搬入地	ヒアリング内容
現在利用	製造業 (製紙)	鳥取市	<ul style="list-style-type: none"> ● 鳥取港から発電燃料を調達しているが、船舶を大型化して輸送の効率化を図りたい。 ● 船舶の大型化が進み、現状のタンカーの手配が困難になっている。大型タンカーに対応した岸壁を整備してほしい。 ● 鳥取港でコンテナを扱うことが出来れば、利用を考える。現在は愛媛港を利用。
将来利用 意向あり	製造業 (航空機械)	鳥取市	<ul style="list-style-type: none"> ● 原材料を陸上輸送で調達しているが、重量物のため小ロットでしか運べない。鳥取港から海上輸送できれば、低コストで一度に多くの原材料を調達できる。製品出荷も同様。 ● 航空機需要は、最新機材への更新、新興国のリージョナルジェット増加等により、今後増加する見通しである。
	建設資材 (砂・砂利)	兵庫県 姫路市	<ul style="list-style-type: none"> ● 鳥取港には現在用地に空きがないが、用地が確保されれば利用する可能性はある。
	エネルギー 関連	鳥取市 近隣県	<ul style="list-style-type: none"> ● 鳥取市内にバイオマス発電所を建設し、鳥取港から再生可能エネルギーの燃料を輸入したい。 ● 将来は鳥取港からの輸入量を増加させ、燃料供給拠点として近隣県へ供給したい。 ● 保管用のサイロ、タンクを設置したい。
	商社 (原木)	鳥取県 東部・中部	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在陸上輸送で原木を国内出荷しているが、ドライバー不足等の課題に対応し、鳥取港に内航船を寄港させ、海上輸送にシフトしたい。 ● 新規取扱いが可能になれば、森林組合等と協働して、鳥取港からの原木輸出に取り組みたい。
	製造業 (雑工業品)	兵庫県 豊岡市	<ul style="list-style-type: none"> ● メリットがあれば利用したい。上海-鳥取航路があればよい(コンテナ)。

背後企業からは、「①船舶大型化」「②貨物量増大」「③新規取扱い貨物」「④用地確保」「⑤内航船の寄港」への対応が要請されている。

③ 漁船・小型船舶利用者からの要請(ヒアリング調査)

	ヒアリング内容
漁船利用者	<ul style="list-style-type: none">● 西浜地区には冬場に「うねり」が入ってくる。● 東側から「うねり」が入った時に、西浜地区の緑地港内側を避難岸壁として利用したい。係船柱を何本か設置してほしい。● 第2防波堤を延伸する場合は、開口部100mを設けてほしい。● 観光客、釣り客、スケートボード利用者などが漁港区に立ち入ると漁業活動に影響があるため、利用区分してほしい。
小型船舶利用者	<ul style="list-style-type: none">● 県外者で鳥取港にクルーザーを置きたいという需要がある。係船杭をクルーザー(40～50フィート)、大型ヨットに対応した配置にすれば、利用船舶が増加する可能性がある。● 千代地区ポートパークの静穏度は年間を通じて悪い。● 賀露地区ポートパークは、遊漁船の利用が多くなっている。● 航路を変更する場合、標識、航路ブイ等の措置が必要である。● 千代航路の航路幅は、100mは必要である。

漁船・小型船舶利用者からは、「①うねり・静穏度対策」「②東側への航路確保」「③来訪者の利用区分」「④航路の安全確保」「⑤大型フレジャーボート係留」への対応が要請されている。

④鳥取の将来を担う子供の意見(アンケート調査)

- 鳥取港背後に位置する賀露小学校の生徒に対して、鳥取港の概要について説明した後、鳥取港の未来(30年後)について、意見収集を実施。

いま ねんご とっとりこう
今から30年後の鳥取港

どんな「みなと」になっていたらいいでしょうか。

かんが
 考
 え
 て
 み
 よ
 う

- ①貨物船がたくさん来るようになるには何があったらいいでしょうか。工場？会社？
- ②貨物船がたくさん来たら、鳥取市は、どうなるでしょうか。賀露は、どうなるでしょうか。
- ③「みなと」に、「どんなもの」があったら、人が集まるのでしょうか。
- ④外国のクルーズ客船が鳥取港にくるためには、何があったらよいでしょうか。
- ⑤クルーズ客船で賀露に来る外国人観光客は、「何をしてあげたら」喜ぶでしょうか。
- ⑥地震や津波の後に、「みなと」は、どうなっているでしょうか。こわれないためには・・・
- ⑦地震や津波がきたときに、「みなと」にあったらいいのは、何でしょうか。
- ⑧あなたは、「みなと」に何があれば、「行きたい」と思いますか。遊び場？レストラン？会社？ホテル？ゲームセンター？

せん
 ◎クルーズ船(ぱし
 ふいっくびいなす)
 とっとりこう きとき
 が鳥取港に来た時
 ようす
 の様子



④鳥取の将来を担う子供の意見(アンケート調査)

番号	設問	主な回答(賀露小)
①	貨物船がたくさん来るには何が必要か。	「賀露の工業を見せるための 工場 」、「コンテナを保管できる大きい 倉庫 」、「 宿泊 (ゲストハウスなど)を増やして楽しんでもらう」、「貨物船が来るには、取引ができる 会社 」
②	貨物船がたくさん来たら、鳥取市・賀露はどうか。	「工場が増え、工業が盛んになり、 賀露の町が栄える 。」、「町が広がる」、「人が増える」、「賀露に物資が集まり、とても いいまちになる 。」
③	「みなと」に、「どんなもの」があったら、人が集まるか。	「 イベント (グルメフェスティバル、有名なキャラクター(ポケモンGO)など)」、 「 飲食施設 (海鮮専門レストラン、ファストフード、タピオカ、チーズドッグ、屋台)」、 「 商業施設 (ショッピングモール、道の駅、お土産屋、県産品の販売)」、 「 宿泊・休憩施設 (温泉、ホテル)」、 「 レジャー・娯楽 (水族館・博物館、遊園地、広場)」、 「 釣りサービス (釣具屋、釣り船、調理場の提供)」、 「その他(駐車場、コンビニ等)」
④	外国クルーズ客船が来るには何が必要か。	「鳥取が都会になる(有名 になる)」、「観光バス」、「高級レストラン」、「漫画、ゲーム」
⑤	クルーズ客船で来訪する外国人観光客は、「何をしてあげたら」喜ぶか。	「 観光案内 (ガイド、マップ、しおり、賀露の伝統紹介)」、「港の グッズ店 」、「歓迎 イベント 」、「 外国人向けの店 (集まる場所)」、「 記念品 配布」
⑥	地震や津波の後、「みなと」は、どうなっているか。	「 外壁を強く したら壊れにくい」、 「壊れないために 頑丈にする 。(金属性、下部をコンクリート)」
⑦	地震や津波の時、「みなと」に何が必要か。	「 避難所 、避難できる 高台 、波が来ても浸水しない建物」、「 飲料・食料 」、「病院」、「ライフジャケット、浮き輪」、「 ベッド 」、「 懐中電灯 」
⑧	あなたは、「みなと」に何があれば、「行きたい」と思うか。	「 イベント (フェスティバル、芸能人)」、 「 飲食施設 (レストラン(地場産品、海鮮)、出店(タピオカなど)、お洒落なカフェ)」、 「 商業施設 (ショッピングモール)」、 「 宿泊・休憩施設 (ホテル、温泉、足湯)」、 「 レジャー・娯楽 (水上アスレチック、プール、遊園地、観覧車(景色が見える)、映画館、水族館、動物園、港の資料館、ゲームセンター)」

地元の子供からは、「①にぎわい」「②レジャー」「③集客施設」への対応が要請されている。

⑤鳥取港賑わいづくり検討会

- 地元関係者や行政関係者らにより、観光分野に視点を置いた「鳥取港賑わいづくり」を開催(令和2年1月28日)。

	主な意見
情報	<ul style="list-style-type: none">● 指定管理者制度を導入した「かにっこ館」の来場者数が過去最高を記録。(以下要因)<ul style="list-style-type: none">①改元、夏休み、年末年始等で長期休暇が多かった。②大型連休に、各種イベントを実施。③施設投資(芝生の整備、貸出遊具の調達等)● 緑地公園でイベントを開催したが、トイレが不足した。● マリンピア賀露のトイレ環境が良くない。● ウォーキング(イベント)は、風光明媚なコースでリピーターが多い。● みなと公園の駐車場が機能していない。● 17団体が週交代で西浜海岸の清掃を実施している。
提案・意見	<ul style="list-style-type: none">● 賀露神社等の昔からある街並み・歴史も活用できないか。● クルーズ船の賑わいも検討出来ないか。(検討会、イベント、住民による地域サポーター活動)。● 鳥取大学との連携ができないか(ゼミ活動、サークル活動)。● 海水浴場の利用者が減少。協力金による運営では限界がある。
要望・要請	<ul style="list-style-type: none">● 賀露神社の土地(雑木林)に公園の整備を要望。高台で見晴らしがよく、歴史の資料館等を整備すれば子供から老人まで利用できる。周遊にも役立つ。● 地域の伝統芸能、歴史、文化、食など、情報発信できる施設の設置。● 旅行者の二次交通確保が必要である。(レンタサイクル等)● ビーチスポーツのポテンシャルが高い砂浜である。休憩スペースが不足。

地元関係者からは、「①賑わい施設の整備」や、「②アクセスの充実」、「③歴史の活用」等の意見が出ている。

第6章 鳥取港長期構想（案）

- (1) 将来の方向性
- (2) 将来の姿
- (3) 鳥取港長期構想イメージ(案)
- (4) 将来像・戦略
- (5) 戦略・施策
- (6) 施策の展開方向
- (7) 動線計画(人流・物流)
- (8) 地区別の拠点施設配置計画

(1) 将来の方向性

周辺環境 社会環境の変化
自然環境の変化

上位計画 国(港湾の中長期政策PORT2030)
県(総合戦略、地域防災計画)
市(総合計画、都市計画)

課題 航路埋塞・泊地閉塞
静穏度不足
船舶の大型化と新たな貨物への対応

要請 アンケート(県民、来訪者)
ヒアリング(企業、漁船小型船舶)
賑わいづくり検討会

鳥取港の果たすべき役割

物流 将来にわたって鳥取県の経済を支えるため、
輸送の効率化、多様性による地域産業の振興を担っていかなければならない。

人流 住む人、訪れる人にとって魅力ある地域を継続するため、
地域資源を活用した賑わい・憩い空間の形成による交流拠点として機能していかなければならない。

安全・安心 安心な暮らしと企業活動を継続するため、
防災と安全性を備えた自然災害に強い港づくりを進めていかなければならない。

意見集約 鳥取港長期構想検討委員会
(パブリックコメント)

鳥取港長期構想



(1) 将来の方向性

課題・要請		方向性・将来像
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 航路埋塞・泊地閉塞 ・ 静穏度不足 ・ 船舶の大型化と新たな貨物への対応 	
要請	県民・来訪者 <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通手段の充実 ・ 散策・憩い空間の整備 ・ マリンスポーツの推進 ・ リダンダンシーの確保 ・ 港湾機能強化 	
	荷主企業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 船舶大型化 ・ 貨物量増大 ・ 新規取扱い貨物 ・ 用地確保 ・ 内航船の寄港 	
	漁船・小型船舶利用者 <ul style="list-style-type: none"> ・ うねり・静穏度対策 ・ 東側への航路確保 ・ 来訪者の利用区分 ・ 航路の安全確保 ・ 大型プレジャーボート係留 	
	鳥取賀露の子供 <ul style="list-style-type: none"> ・ にぎわい ・ レジャー ・ 集客施設（商業・飲食・宿泊） 	
	賑わいづくり検討会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 賑わい施設の整備 ・ アクセスの充実 ・ 歴史の活用 	
	上位計画 <ul style="list-style-type: none"> ・ 次世代エネルギー供給拠点化 ・ 大型クルーズ船の受入環境整備 ・ ツインポート推進 ・ 非常時の物資受入港 	
	委員会意見 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大型貨物船の受入機能強化 ・ 長尺・重量物への対応 ・ 水産業の振興・強化 ・ コンテナ（梱包）貨物輸送機能強化 ・ 小ロットへの対応 	
	パブリックコメント <ul style="list-style-type: none"> ・ 良好な水辺空間の確保 ・ モーダルシフトの推進 ・ クルーズ、フェリー、遊覧船等の誘致 ・ 災害時の港湾機能の確保 ・ 環境対策 	
	物流	
	人流	<p>伝統文化と周辺集客施設 地域資源を活用した賑わい・憩い空間の形成による 交流拠点</p>
安全安心	<p>安心な暮らしと企業活動が継続する 防災と安全性を備えた自然 災害に強い港</p>	

物流（物流効率化）

自らの役割を果たす
輸送の効率化、多様性による
地域産業を振興する港

人流（賑わい創出）

伝統文化と周辺集客施設
地域資源を活用した賑わい・
憩い空間の形成による
交流拠点



ヒト、モノ、みんな「きなんせ鳥取港」

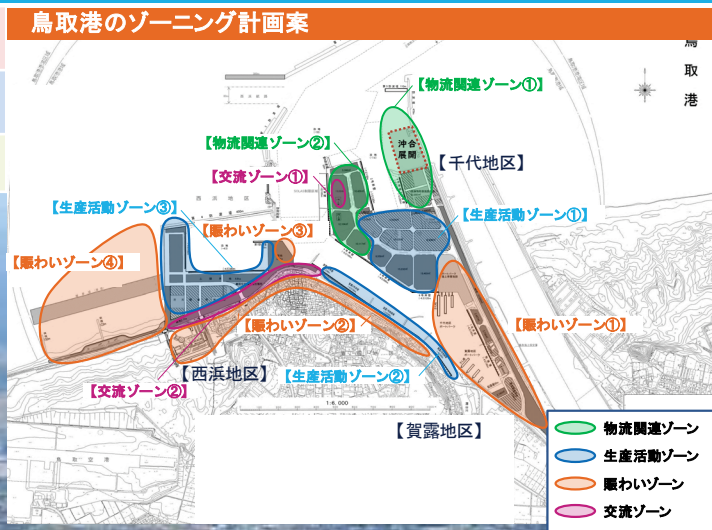


安全・安心

安心な暮らしと企業活動が継続する
防災と安全性を備えた
自然災害に強い港

(3) 鳥取港長期構想イメージ(案)

物流	輸送の効率化、多様性による地域産業を振興する港
人流	地域資源を活用した賑わい・憩い空間の形成による交流拠点
安全・安心	防災と安全性を備えた自然災害に強い港



将来像		コンセプト	
物流	輸送の効率化、多様性による地域産業を振興する港	Concept 1	海上物流拠点の機能確保
		Concept 2	輸送の効率化による地域産業の成長と競争力強化のための基盤整備
		Concept 3	将来を見据えた港の再編・維持管理
人流	地域資源を活用した賑わい・憩い空間の形成による交流拠点	Concept 1	地域・自然と共生する交流拠点の形成
		Concept 2	周辺集客施設と調和する賑わい空間の形成
安全・安心	防災と安全性を備えた自然災害に強い港	Concept 1	自らの防災機能と他地域が被災した場合の補完機能の確保

(5) 戦略・施策

コンセプト	戦略	取組概要	具体的な取組例
Concept 1 海上物流拠点 の機能確保	船舶航行の安定化	利用船舶が安定して安全に航行（信頼性の向上）できるよう航路整備に取り組む。	・代替輸送航路の確保 （第3防波堤の撤去、緊急航路の浚渫） 等
	港内静穏度の向上	利用船舶が安定して安全に荷役（信頼性の向上）できるよう静穏度向上に取り組む。	・防波堤の延伸、嵩上げ （第1防波堤、第2防波堤、第8防波堤） 等
	船舶大型化への対応航路の確保	利用船舶の大型化に対応できるよう航路整備に取り組む	・主要航路を千代航路から西浜航路にシフト ・航路泊地の浚渫 等

※下線は今後の取組の一例です。

①早急に実施

解決する課題

- ・第3防波堤の撤去 主要航路(千代航路)埋没時の代替輸送航路(西浜航路)の確保
- ・緊急航路の浚渫

②当面の対策

解決する課題

- ・防波堤嵩上げ 漂着ごみ流入、静穏度不足
- （第2・第8防波堤）

③抜本的対策

解決する課題

- ・第1防波堤(西)の延伸
 - ・第3防波堤の撤去
 - ・第2防波堤の延伸
 - ・航路泊地の浚渫
 - ・沖合展開
- 航路埋塞、静穏度不足、船舶大型化、用地不足



凡例

早急に実施



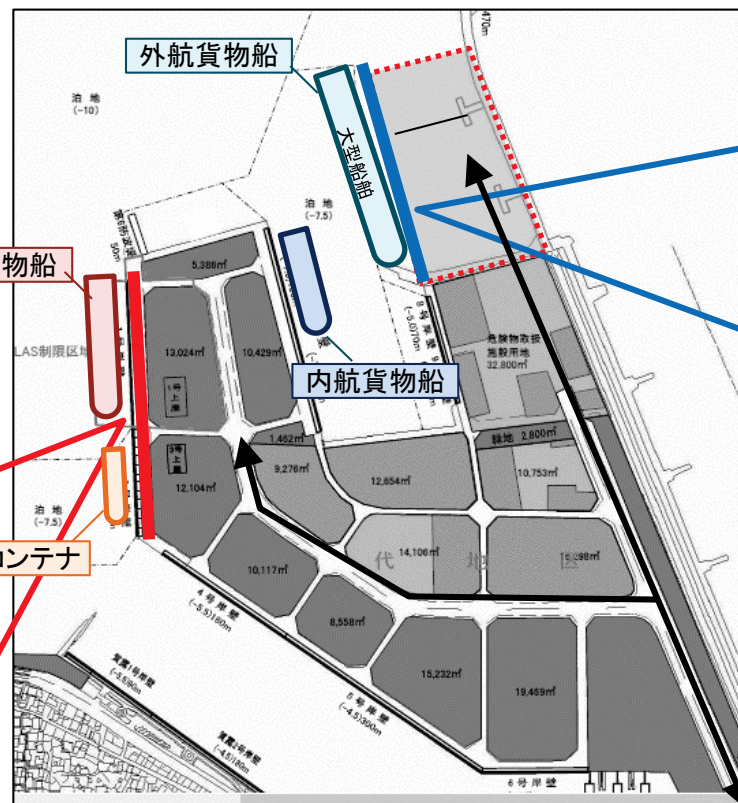
抜本的対策

2段階で実施

(5) 戦略・施策

コンセプト	戦略	取組概要	具体的な取組例
Concept 2 輸送の効率化による地域産業の成長と競争力強化のための基盤整備	港湾機能の強化	地域の要請（利用船舶の大型化、モーダルシフト対応、コンテナ輸送）に応じた港湾機能の整備により、企業活動を支援する。	・船舶大型化に対する施設整備 ・ <u>コンテナターミナルの計画、取扱施設の整備</u> （ <u>航路誘致</u> 、 <u>荷役業者の確保</u> 、 <u>ポートセールス実施</u> ）等
	港湾へのアクセス道路強化	整備が進む高規格道路、幹線道路と港湾のアクセス強化を図り、港湾利用の円滑化に取り組む。	・臨港交通機能の強化（ <u>臨港道路の延伸整備</u> ） ・南北線との <u>連携強化</u> 等

※下線は今後の取組の一例です。

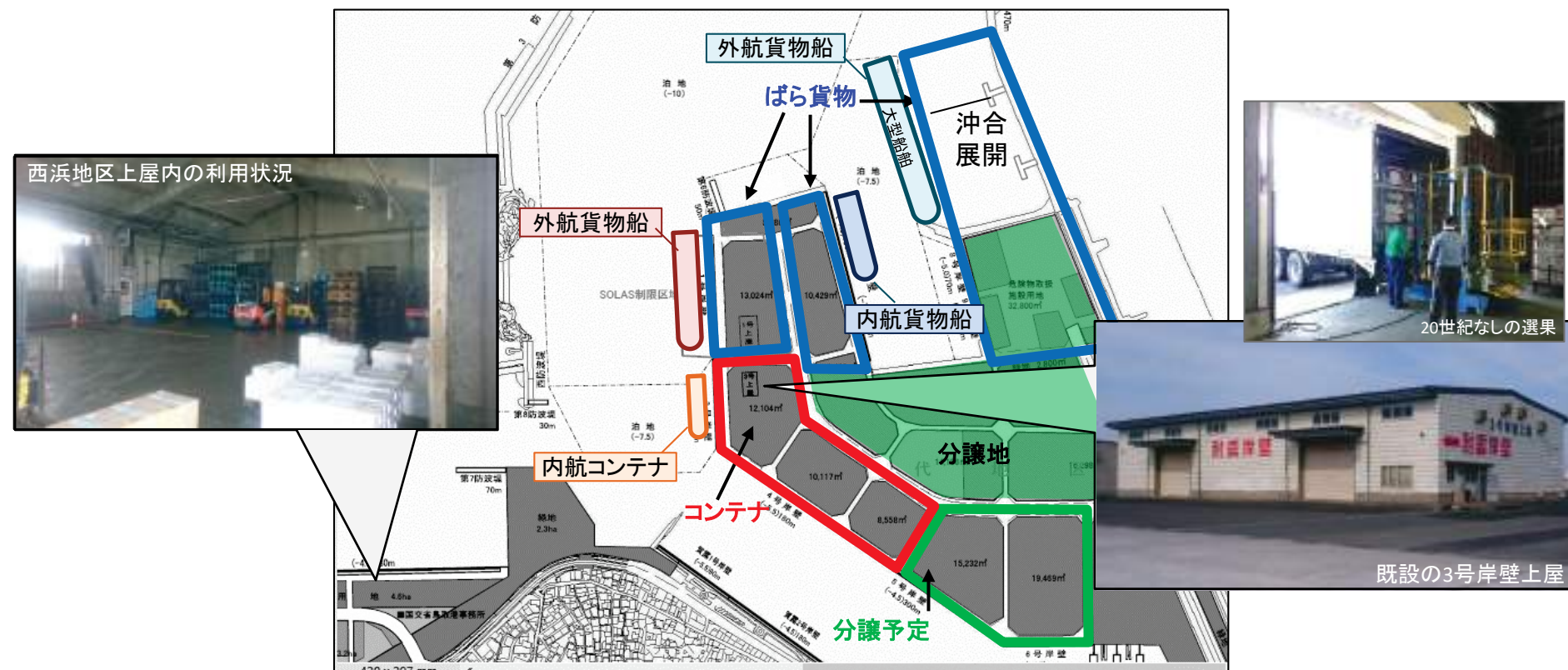


アクセス道路強化

(5)戦略・施策

コンセプト	戦略	取組概要	具体的な取組例
Concept 3 将来を見据えた港の再編・維持管理	ふ頭用地確保	ふ頭の造成、用地再編し、物流拠点として効率的な土地利用を推進する。	・ふ頭用地の造成、再編 (港湾利用企業の誘致) 等
	ふ頭機能の強化	港湾利用企業の多様な輸送ニーズに対して、施設整備、既存施設を有効利用する。	・上屋の整備、改修 ・民間施設、水産施設整備に対する補助支援 等
	適正な施設管理	港湾関連施設の適正な維持管理を実施し、施設の長寿命化に取り組む。	・長寿命化計画による適正な維持管理 等

※下線は今後の取組の一例です。



コンセプト	戦略	取組概要	具体的な取組例
Concept 1 地域・自然と共生する交流拠点の形成	地域の歴史・文化活動の支援	地元自治体等と連携し、伝統行事・イベントを開催し、地域が活性化する空間を形成する。	・ <u>白いか祭り：物販規制の緩和、水道等の施設開放</u> ・ <u>賀露自治会イベントで施設使用をする際の優遇</u> 等
	自然との共生	西浜地区（賀露みなと海水浴場）の保全（ハード施策）、利活用推進（ソフト施策）を行い、自然体験・共生空間を形成する。	・ <u>ビーチクリーン活動</u> ・ <u>設備（シャワー、水道）の増強</u> 等
	交流拠点の再配置	港湾緑地を再整備し、新たなニーズ・ターゲットに対応した連続性のある交流空間を形成する。	・ <u>緑地遊歩道の計画（ルート、対象）</u> ・ <u>ストリートスポーツ施設の配置計画（コンクリート舗装）</u> 等

※下線は今後の取組の一例です。

※取組の推進に当たっては、鳥取港賑わいづくり検討会にてとりまとめが行われている鳥取港賑わいづくり基本計画と連携を図ります。

●ホーエンヤ(水域占用の許可の優遇措置)



●ビーチスポーツの推進(ビーチサッカー大会誘致)

JFA全日本ビーチサッカー大会
(令和元年9月6日)



●緑地遊歩道の計画

みなと公園



コンセプト	戦略	取組概要	具体的な取組例
Concept 2 周辺集客施設と調和する賑わい空間の形成	賑わい空間の拡大	県、市の関係部局、地元、民間企業、団体が官民一体となり、鳥取港の賑わい空間の創出、拡大を推進する。	・ <u>周辺の大型集客施設とのイベント連携</u> ・ <u>賑わいゾーンの施設整備</u> （ <u>ボートパーク、マリニピア、西浜海水浴場周辺</u> ） ・ <u>集客施設の誘致（飲食・商業施設等）</u> 等
	海・空の港（ツインポート）の連携推進	空港と港湾が近接する立地を活かし、ツインポート懇談会や空港・港湾のイベントが連携して賑わい空間を形成する。	・ <u>マリニピアでの空港イベント告知するデジタルサイネージ整備</u> 等
	観光交流拠点形成	クルーズ船の受入れ環境を整える。地元、背後企業、商業施設が一体となって観光対策に取り組み、中近距離の観光拠点を形成する。	・ <u>クルーズおもてなしの充実、支援</u> （市、自治会、小学校、商工会） 等
	交通手段の充実	クルーズ客等の来訪者に対する交通サービスを充実し、陸・海・空へアクセスできる多様な交通結節点を形成する。	・ <u>拠点間のアクセス充実</u> （ <u>ジオコムス、タクシー、レンタカー、バス、水陸両用飛行機、シャトル、渡し舟</u> ） 等

※下線は今後の取組の一例です。

※取組の推進に当たっては、鳥取港賑わいづくり検討会にてとりまとめが行われている鳥取港賑わいづくり基本計画と連携を図ります。

クルーズ誘致への新たな取り組み

(1) 1ランク上のクルーズ船誘致

- ・港湾施設整備に合わせ、現在よりも1ランク上のクルーズ船誘致を目指す。
- ・整備完了時に「飛鳥Ⅱ」クラスの誘致を目指す。

(2) 新たなクルーズ誘致ターゲットの明確化

- ・欧米富裕層乗船の中小クルーズ（ラグジュアリー、ハイクラス）をターゲットに加える。

(3) 背後観光地の充実

- ・富裕層の嗜好の多様性に対応できる、背後の観光地、鳥取でしか経験できないアクティビティの充実。また、関係主体との連携強化。

(4) 「おもてなし」体制の強化

- ・地域のホスピタリティの向上支援。（（例）地元高校生による「ボランティア通訳」に対する支援）
- ・乗客が自由に観光地を移動できるよう、観光地間のアクセス強化を図る。（ジオパークへのアクセス：バス強化、遊覧飛行（水陸両用飛行機）、タクシー、レンタカー）



飛鳥Ⅱ

水陸両用飛行機による鳥取砂丘遊覧飛行



(5) 戦略・施策

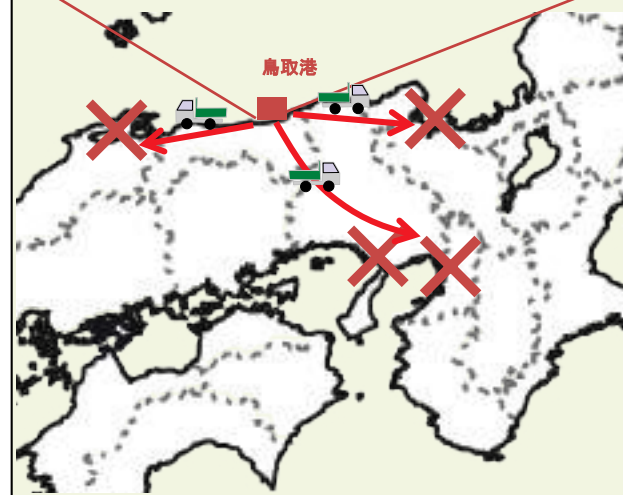
コンセプト	戦略	取組概要	具体的な取組例
Concept 1 自らの防災機能と他地域が被災した場合の補完機能の確保	リダンダンシー機能確保	阪神港被災時に港湾機能の一部を鳥取港へシフトできるように施設整備を行う。	・ストックヤードの確保 ・港湾機能整備 (コンテナターミナル、内航航路誘致)
	防災・減災対策の推進	事前の準備・対策により、非常時の円滑な対応を目指す。(早期復旧)	・港湾BCP (策定済み) の周知・徹底 ・岸壁の耐震化 (千代3号岸壁耐震化済み)

※下線は今後の取組の一例です。



イメージ (鳥取港から救援物資を被災地へ輸送)

救援物資を輸送し、自衛隊トラックに引き継ぐ巡視船 (平成23年3月19日、宮城県仙台塩釜港)
資料：海上保安レポート2012



(6) 施策の展開方向

	方向性 コンセプト	戦略	取組時期				対象 地区
			既存	短期	中期	長期	
物流	Concept 1 海上物流拠点の機能確保	船舶航行の安定化		■			千代・西浜
		港内静穏度の向上		■			全地区
		船舶大型化への対応航路の確保		■			千代・西浜
	Concept 2 輸送の効率化による地域産業の成長と競争力強化のための基盤整備	港湾機能の強化		■			千代
		港湾へのアクセス道路強化		■			千代
	Concept 3 将来を見据えた港の再編・維持管理	ふ頭用地確保		■			千代
		ふ頭機能の強化		■	■		全地区
		適正な施設管理		■	■		全地区
	人流	Concept 1 地域・自然と共生する交流拠点の形成	地域の歴史・文化活動の支援	■			
自然との共生			■				西浜
交流拠点の再配置				■			賀露・千代
Concept 2 周辺集客施設と調和する賑わい空間の形成		賑わい空間の拡大		■			全地区
		海・空の港（ツインポート）の連携推進		■			賀露
		観光交流拠点形成		■			千代
		交通手段の充実		■			千代・賀露
安全 安心	Concept 1 自らの防災機能と他地域が被災した場合の補完機能の確保	リダンダンシー機能確保		■			千代
		防災・減災対策の推進		■	■		全地区

凡例

～ 5年	短期	15年～30年	長期
5年～15年	中期	継続的・持続的な取組	

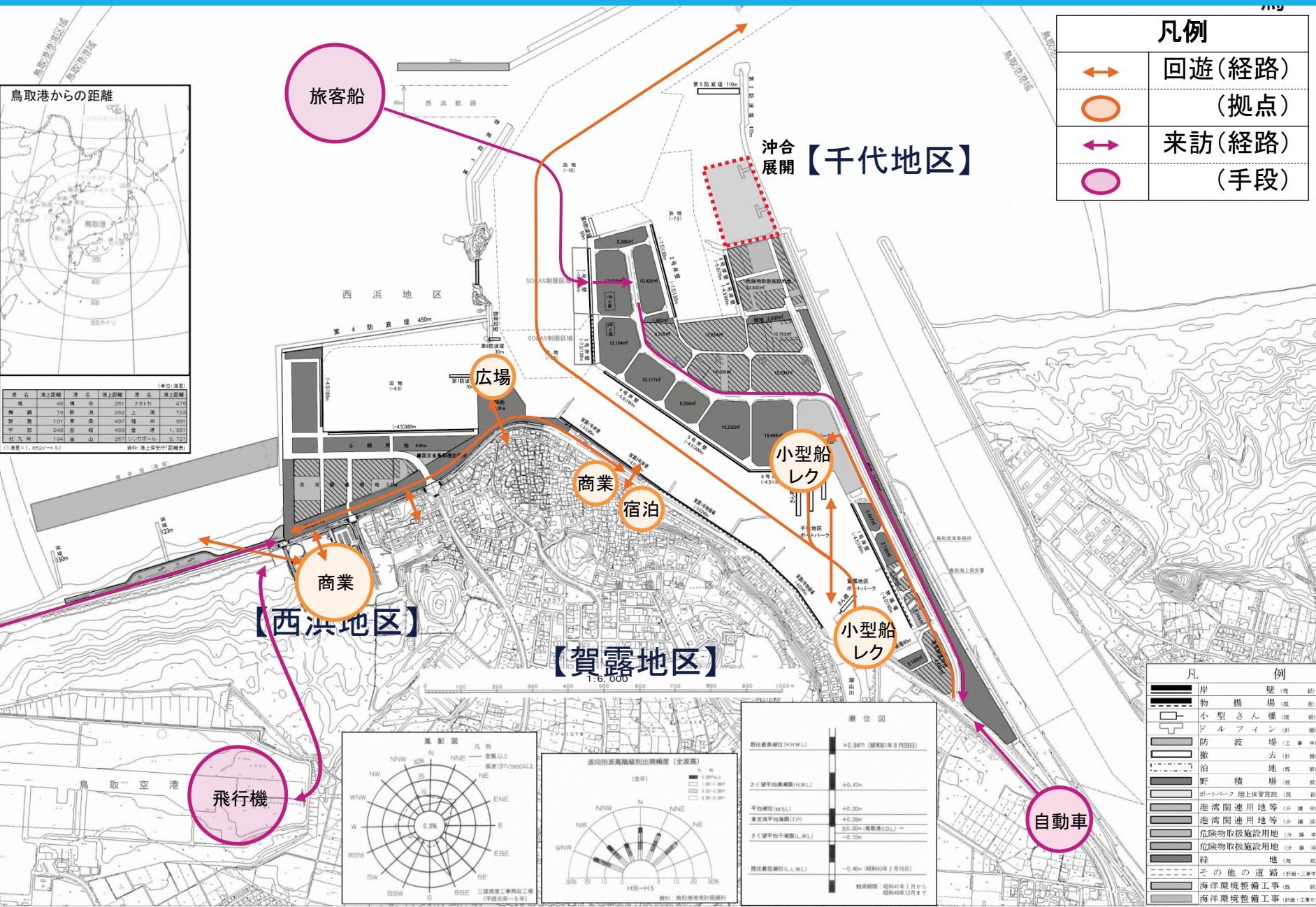
(7) 動線計画(人流)

凡例	
	回遊(経路)
	(拠点)
	来訪(経路)
	(手段)

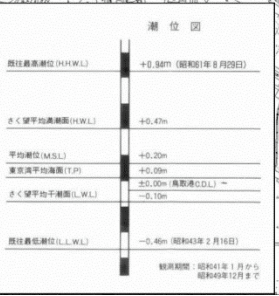
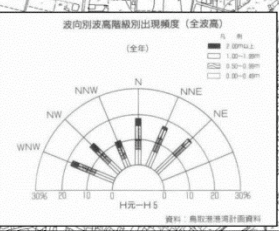
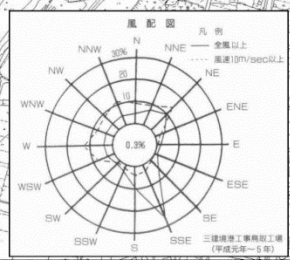
鳥取港からの距離

港名	海上距離	港名	海上距離	港名	海上距離
徳島	46	博多	251	宇布岐	437
舞鶴	76	新居	232	上海	722
秋田	101	青森	457	福州	391
宇部	248	高松	489	香港	1,951
北九州	334	神戸	511	ソウル	2,223

(1:海里=1.852km) 資料:海上保安庁提供

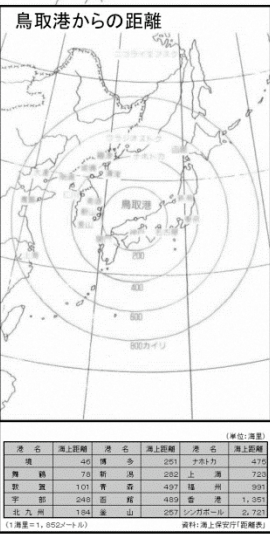
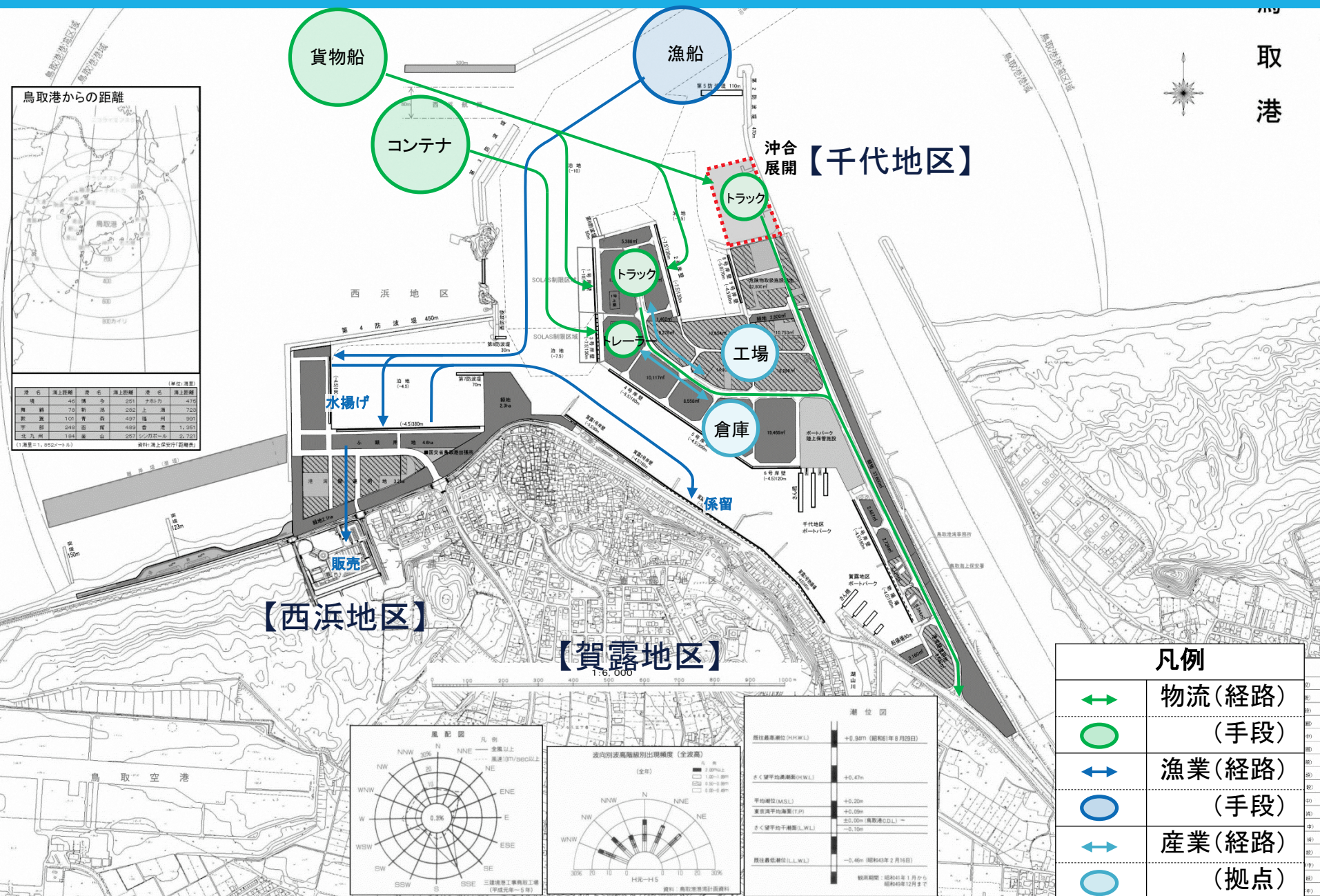


凡	例
	岸壁 (堤防)
	物揚場 (既設)
	小型さん橋 (既設)
	ドルフィン (計画)
	防波堤 (工事)
	散去 (計画)
	野地 (既設)
	貯積場 (既設)
	ポーターク 地上保等施設 (既設)
	港湾関連用地等 (計画)
	港湾関連用地等 (計画)
	危険物取扱施設用地 (計画)
	危険物取扱施設用地 (計画)
	緑地 (既設)
	その他の道路 (計画・工事)
	海洋環境整備工事 (既設)
	海洋環境整備工事 (計画・工事)



(7) 動線計画(物流)

鳥取港

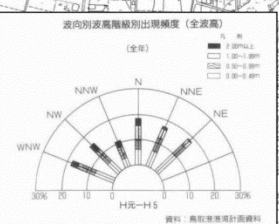
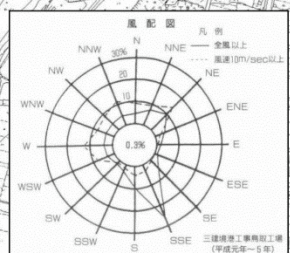


【西浜地区】

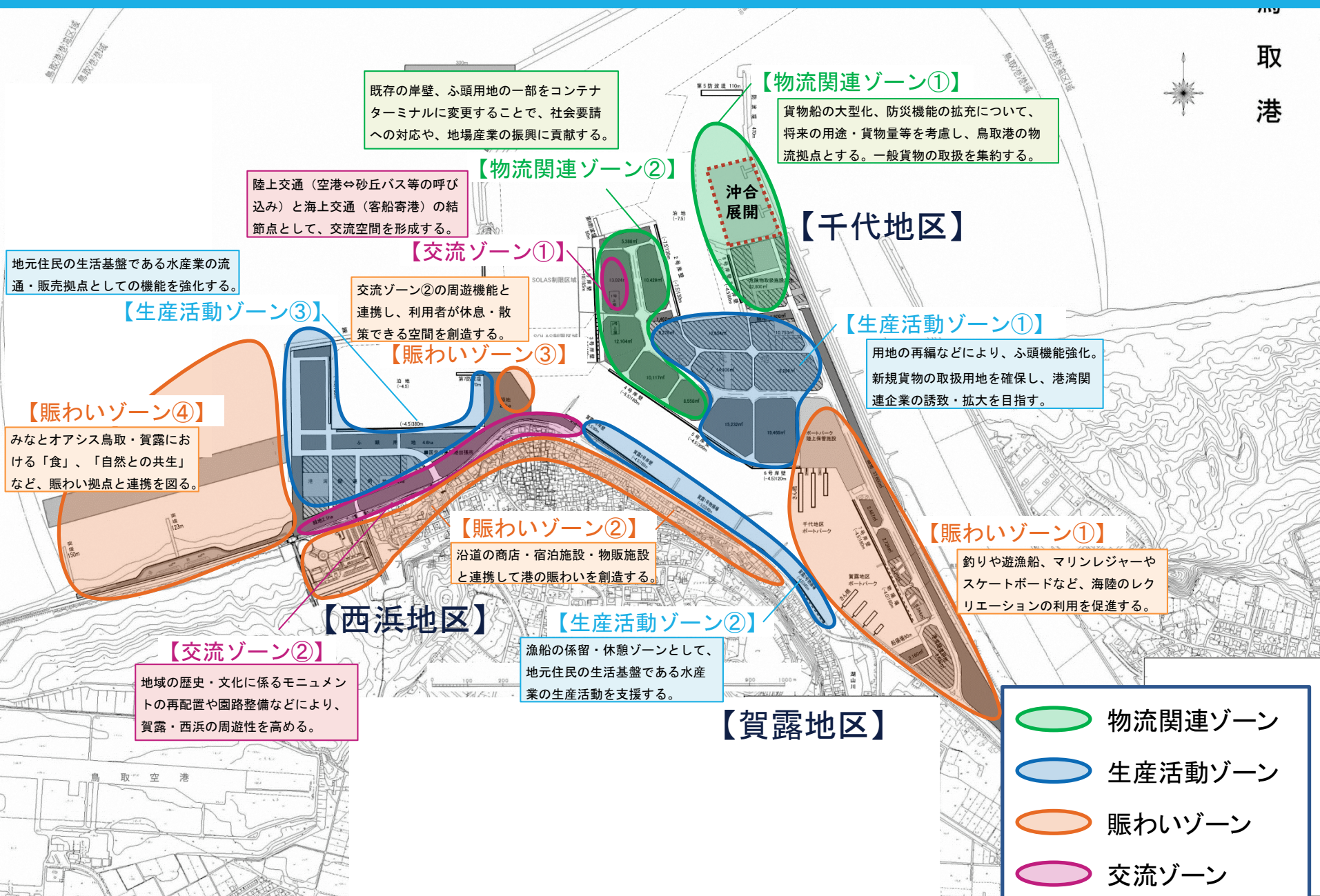
【賀露地区】

凡例

⇔	物流(経路)
○	(手段)
⇔	漁業(経路)
○	(手段)
⇔	産業(経路)
○	(拠点)



(8) 地区別の拠点施設配置計画(ゾーニング計画図)



【物流関連ゾーン②】

既存の岸壁、ふ頭用地の一部をコンテナターミナルに変更することで、社会要請への対応や、地場産業の振興に貢献する。

【物流関連ゾーン①】

【物流関連ゾーン②】

沖合展開

【物流関連ゾーン①】

貨物船の大型化、防災機能の拡充について、将来の用途・貨物量等を考慮し、鳥取港の物流拠点とする。一般貨物の取扱を集約する。

【生産活動ゾーン①】

用地の再編などにより、ふ頭機能強化。新規貨物の取扱用地を確保し、港湾関連企業の誘致・拡大を目指す。

【生産活動ゾーン①】

【賑わいゾーン①】

【賑わいゾーン①】

釣りや遊漁船、マリンレジャーやスケートボードなど、海陸のレクリエーションの利用を促進する。

- 物流関連ゾーン
- 生産活動ゾーン
- 賑わいゾーン
- 交流ゾーン

クルーズ船寄港時

【交流ゾーン①】

陸上交通(空港⇄砂丘バス等の呼び込み)と海上交通(客船寄港)の結節点として、交流空間を形成する。

【交流ゾーン①】

沖合展開

【賑わいゾーン①】

【賑わいゾーン①】

釣りや遊漁船、マリンレジャーやスケートボードなど、海陸のレクリエーションの利用を促進する。

- 物流関連ゾーン
- 生産活動ゾーン
- 賑わいゾーン
- 交流ゾーン

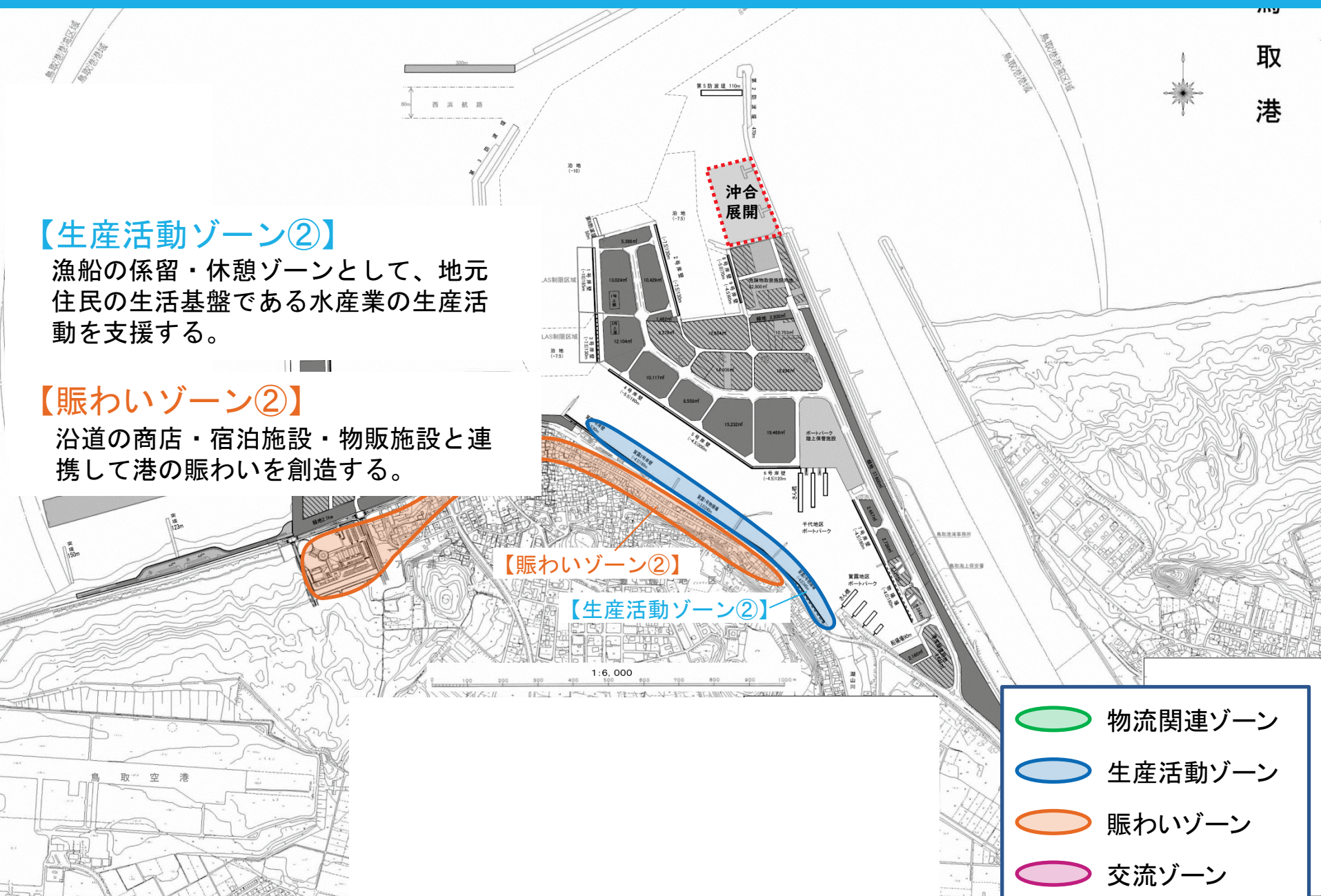
(8) 地区別の拠点施設配置計画【賀露地区】

【生産活動ゾーン②】

漁船の係留・休憩ゾーンとして、地元住民の生活基盤である水産業の生産活動を支援する。

【賑わいゾーン②】

沿道の商店・宿泊施設・物販施設と連携して港の賑わいを創造する。



【賑わいゾーン④】

みなとオアシス鳥取・賀露における「食」、「自然との共生」など、賑わい拠点と連携を図る。

【生産活動ゾーン③】

地元住民の生活基盤である水産業の流通・販売拠点としての機能を強化する。

【賑わいゾーン③】

交流ゾーン②の周遊機能と連携し、利用者が休息・散策できる空間を創造する。

【賑わいゾーン②】

沿道の商店・宿泊施設・物販施設と連携して港の賑わいを創造する。

【交流ゾーン②】

地域の歴史・文化に係るモニュメントの再配置や園路整備などにより、賀露・西浜の周遊性を高める。

囲碁モニュメント 日時計



- 物流関連ゾーン
- 生産活動ゾーン
- 賑わいゾーン
- 交流ゾーン

【賑わいゾーン④】

みなとオアシス鳥取・賀露

